



## 議会報告

### 小林たかひろ

行政に関するご相談を幅広く承ります。お気軽にご連絡ください。皆さんからのお電話をお待ちしています。



日向市大字幸脇 1088 番地 2  
TEL : FAX : 0982-58-0073  
携帯電話 : 090-4347-2712  
メールアドレス  
kobat1125@gmail.com  
編集・発行者 / 小林 隆 洋

# 絆

きずな

VoL:8

秋本番です。新型コロナウイルスもしばらくは遠ざかっています。第2波、第3波が心配です。早くワクチンが開発されれば良いのですが、時間がかかるみたいです。皆さん方もテレビや新聞等で情報収集を図られ、くれぐれもご自愛ください。

「新しい生活様式」…。今、この言葉がやたらと目につきます。パソコンやスマホを使ったりリモート会議が促される一方で、地域の伝統文化でありますお祭りや敬老会といったイベントも軒並み中止…。3密を避ける…このことで人と人との絆が壊れていくような気がしてなりません。何だか悲しくなるのは私だけではないと思います。でも皆さん、コロナに負けずに元気を出してがんばりましょうね。

さて、9月定例議会ですが、一般質問は取りやめました。コロナ対策でめちやくちや多忙な市職員への配慮もあり、元役所マンとしては、遠慮させていただいたところです。

従って、今回は、コロナ対策で国県から交付された財源を使って予算化されたおもな議案の内容や委員会で質疑した内容を皆さんにお知らせします。

## 第5弾

### 感染症緊急経済対策事業 衛生施設の整備

国県からの交付金は78億7417万円。日向市からの持ち出し財源は3億6130万円。起債(借金)等を合わせると総事業費は88億9974万円です。

では、おもな事業の中身をご紹介します。

まずは災害時の避難所や公立保育所、教育施設などの衛生環境整備事業(市単独予算)として、▼トイレの洋式化…避難所となっている中央公民館や日知屋公民館、農村交流館、教育施設であ

る小中学校の一部、寺迫幼稚園、文化交流センターなどです。空調設備整備も公的施設に充てられます。

## 第2弾ーコロナに負けるな、元氣クーポン券の販売

地元事業者の皆さんを支援する目的で飲食や宿泊、タクシー、サービス業など幅広く使えるクーポン券が販売されます。

発行数は4万セットで発行額は2億6000万円。1セットが5000円で6500円分使えます(3割お得)。一人4セットまで購入でき、予約制。

日向市に住民票のある方が対象。11月中旬に発行予定で利用期限は令和3年1月31日まで。利用できる店舗は登録された市内の店舗に限られます。問い合わせは、市の商工港湾課(66・1025)

## 市内交通事業者の方へ 事業継続のための支援

感染拡大で深刻な影響を受けている市内の交通事業者へ固定経費の一部を支給。事業継続が支援されます。

対象は、貸し切りバス(保有車両1台当たり10万円)やタクシー、福祉タクシー、代行運転事業者の方々(1台当たり2万円)。すでに今月から受付が始められています。

問い合わせは市観光交流課(66・1026)

## 林業従事者の雇用維持や雇用確保に向けた支援

日向市の基幹産業・林業従事者の皆さんの雇用の維持・確保を図る目的で、森林整備を行う皆さんに対し補助が行われます。

ただし、県が実施している「山の暮らしを守る森林整備支援整備事業」を活用して除伐を行っている方に限られます。

また、既存の森林整備事業の補助対象外となる樹齢7年から10年材の除伐が対象。補助額など詳しくは、市林業水産課(66・1029)へ。

## 県産の農・畜・水産物を 学校給食へ提供します

県からの補助金を活用して、「宮崎ブランドポーク」や「マグロ」「チリメン」など、本県獲れの農畜水産物を小中学校の給食に提供することで、地域特産物の消費拡大が図られます。



日向特産:チリメンも学校給食へお目見えます

## 区長公民館長さん、朗報ですよ！

### ▶自治公民館の活動継続のための環境整備資金(市単独;2100万円)

全市域の自治公民館や独立班を対象に「新しい生活様式」に対応できるための環境整備を行った場合、支援(補助金交付)が行われます。

●補助対象団体…市内90地区の公民館及び独立班(6班)

●補助の対象となる事業

①感染予防のための消耗品や備品で補助金の上限額は10万円。

例:マスク、消毒液、ビニール手袋、ペーパータオル、サーキュレーター(室内喚起のための換気扇:扇風機ではありません)、空気清浄機、消毒液自動噴霧器、非接触型体温計、飛沫防止版、パソコン、スクリーン、プロジェクターなどです。

②感染予防のための施設のハード事業にかかる経費として補助金の上限額は15万円。

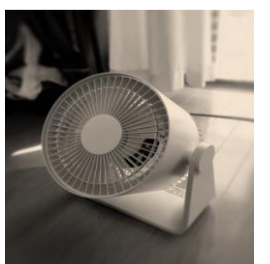
例:エアコン設置(ただし、給換気機能付きエアコンや空気清浄機能の付いたエアコンに限ります)、換気扇の設置や修繕、洋式化トイレ設置、網戸の修理や設置、Wi-Fi 設置の工事費用。

※上記①の事業で10万円まで活用しなかった場合は、残額を②の事業に充てることができます(最大で20万円まで)。

●補助金交付までの流れ

①市地域コミュニティ課で事前に相談する。②確認後に同コミュニティ課に申請書を提出する。③補助金決定の通知が送られてきます。④事業を実施します。⑤実績報告書を提出します。⑥確認審査が行われます。⑦確認終了後に補助金交付確定書を通知。⑧請求書を提出。⑨上記の手続き完了後に補助金が公民館や独立班に入金されます。

※この事業は、新型コロナウイルスの感染予防対策や新しい生活様式にマッチする消耗品や備品の購入、施設の改修、修繕等の工事が対象とされていますので注意が必要です。(地域コミュニティ課:66-1005)



サーキュレーター

## 経済活動の再始動 観光消費の喚起

7400万円

▼日向ファンを増やすためのプロモーション事業

- ①関係人口や移住人口を増やすためのインターネットによる情報拡充されます。
- ②風光明媚な本市の観光素材を活用したPR動画の作成
- ③各種PR用ポスターの作成などに使われます。

## ▼観光消費を喚起する事業

- ①宿泊客を対象に飲食やお土産品の購入、タクシー等で利用できるクーポン券を贈呈(3千円分を1万セット)。
- ②本市への旅行を促した県内の旅行会社へ助成金を進呈(1回につき十万円)。
- ③サイクルツーリズム(貸出し自転車での観光推進として町の駅や馬ヶ背観光案内所などに20台を配備。(観光交流課:66・1026))

9月議会は、前年度に使った財源（市のお金）の使い道を審査・認定する議会でもあります。

令和元年度に日向市に入ったお金は一般会計、特別会計合わせて462億3953万円。使ったお金は453億452万円です。差し引き9億3501円の黒字決算。

果たしてどういうところに使われたのか、皆さんも気になるところではないでしょうか。議会では、お金の使い道に関して議員全員で質疑を行い、さらに3つの常任委員会にジャンルごとに割り振られて更に慎重に審議します。私は「産業建設水道常任委員会」に所属していますが、同委員会では建設部門や産業振興部門、農業畜産林業、商工観光、都市政策部門など多岐に渡ります。

私が同委員会の中で行った主な質疑と答弁をお知らせいたします。

### 急傾斜地崩壊対策と市道の維持管理・交通安全対策は？

**質問▼**近年、森林伐採が進み、山が丸裸になっているところが見え、土砂や岩石等の崩落も目立って増えているが、急傾斜崩壊対策事業実施の判断基準と傷んでいるツギハギだらけの市道整備対策、交通安全施設整備の実態はどうなっているのか。

**答弁▼**急傾斜事業は崩壊の危険度や斜面角度（30度以上）、高さ（5m以上10m未満）のほか、直下にある対象戸数（5戸以上）、災害時の避難路の有無などの条件がある。

現在、新財市・岩崎地区を行っている。

傷んでいる市道整備対策については、十数路線の改修要望が出されているが、優先順位の高い箇所から行うこととしている。ツギハギ道路は水道管の老朽化による漏水との絡みが要因。

助金や起債（借金）を活用しながら取り組んでいる。

交通安全施設は自治会からの要求・要望を検討して危険度の高いところから設置している。

### 決算から見えてきた農業分野での課題と対策は？

**質問▼**昨年度の決算を踏まえ、見えてきた農業政策の課題や対策についての考え方を伺う。

**答弁▼**高齢化が進み、担い手の確保が最重要課題。新規就農者の認定や両親から引き継ぐ形だけではなく、企業経営：会社や法人の参入も視野に入れて柔軟に受け入れていく形も有効。耕作放棄地対策にも繋がる。

**質問▼**後継者にとって大事な視点は若者が魅力を感じる農業の展開が良策ではないか。現在、市内で栽培している農産物以外の新しい産物栽培についてはどうか。

**答弁▼**J-Aとの連携でミニトマトやキュウリ等は堅調に推移している。農地利用については米作のみならず、美々津地区の百町原に見られるような千切り大根（裏作）も有効な手段。

後は、農業部門で総生産額の多くを占めるのがブロイラーや肉用牛、養豚等の畜産業。

ブロイラーに関しては新規参入が見られるが、養牛や養豚に関しては補助も組み込みながら維持しなければならないと考えている。



日向ブランドとなっている百町原の千切り大根

掛けについて伺う。

**答弁▼**オリーブは苗木の補助しか行っていない。搾油機の導入は一万本以上でなければ採算ベースに合わない。現在は機械を所有している福岡のオリーブ協会へ摘んだ果実を送っている。

へべす果汁については、チューハイ製造会社等からも引き合いがあっており、足りていない状況。3年前に県とも協議して産地拡大を図っている。

葉草栽培は、熊本大学との委託契約は本年度で終了だが、連携協定は継続して指導を仰ぐ。

東郷町まちづくり協議会の協力もあり4年間の試験栽培で「カモミール」、「ホーリーバジル」、「ハトムギ」の3品目が日向市で栽培可能、生育良好という評価が出た。販路についてはコロナ禍もあり苦戦しているが、ティーバッグにして製品化し、拡大したい。調剤薬局から販売可能との提案も受けている。

ふるさと寄付金だが、リーフレットを作成して寄付者ひとり一人に送付しているが丁寧との評価を受けている。

**伝統工芸品：はまぐり基石原料入手の行方はどうか。**  
**郷土料理の漁獲量減対策は。**

**答弁▼**メキシコ貝の産地一帯が世界遺産となり、現地で日本向けに貝を丸い形にコア抜きした残骸を海へ放棄していたことから環境破壊に繋がる。この行為で輸入が難しくなったと同

っている。

コア抜きをしていないハマグリは輸入できる状態ではあるが、量が増えるので移送費が数倍となる。結果、従来の単価では販売できないのでネット通販等で海外向けに販売して何とかしのいでいる。ことも聞いている。

日向市の宝でもあり、県とも連携しているところ。業者からも情報をいただきながら活路を見出したいと考えている。

「ハマグリ料理」は本市の郷土料理。漁獲量の激減は海底の調査を行っているが、シルトと呼ばれる細かな汚泥が溜まっており、二枚貝が生息しづらい状況であると聞いている。今後も保護対策をしっかりと行うため、県とも連携しながら取り組む。

### 細島工業地帯18号岸壁整備の取り組み状況はどうか

**質問▼**本市発展のカギを握るの

は企業誘致。そのための用地確保の状況はどうか。

特に港湾計画にも掲載されている日向精錬所北側を埋め立て、企業立地用地として造成するほか、現在、同港が保有する岸壁には接岸できない20万トン級の大船型クルーズ船も接岸できる大深水の18号岸壁整備の取り組みは遅れていないか。

**答弁▼**某企業から購入した2.5haの用地のほか民有地もある。また東郷町の用地（山林）も購入している。

18号岸壁は港湾計画には上がっているが、国へは要望していない。理由は17号岸壁の利用度にまだ余裕があるから。

今の段階で国に要望すれば、費用対効果を問われ、一蹴される可能性がある。17号岸壁の利用頻度を見極めながら対応していく。

### Back Stage

T.Kobayashi

▶**細島臨海工業地帯**：18号岸壁整備の要望活動は港湾整備計画に載せてあるにもかかわらず、要望活動を行っていない…との答弁。そもそも工業用地の確保と大型化するクルーズ船（20万トン級）が接岸できる大深水の岸壁整備という目的で計画に載せた経緯がある。にも関わらず17号岸壁に余裕があるからとの理由。

コロナ禍もあるが、現在、九州中央自動車道も大型コンテナトラックが通過できる箇所を先取りして区間整備が進んでいる。西九州からの物流も増える。細島港は東九州のハブ港として、本市発展のカギを握る宝。コロナ後を見据え、国を超える理論武装が必要だと思うのだが。

▶**縦割りから横割り行政へ**：本市特産の「日向ハマグリ」。郷土料理や基石の原材料として根絶やし寸前にまで追い込まれている。所管は商工港湾課、ブランド推進課、林業水産課、観光交流課等。森林伐採が進み丸裸となった山々。土砂災害危険箇所が増え続け、崩壊防止事業の対象も増える。所管は林業水産課、建設課等。

このほか他部局との連携が必要な事業も多くある。国は縦割り行政による弊害を無くすため「縦割り110番制度」を導入。地方自治体も右へ倣うべきだがどうか。

▶**市営住宅の空き家対策**：現在29団地1332戸を管理している。うち、空き家は262戸。全戸数の19.6%が空き家。もったいない話である。先日、新聞折り込みで募集チラシを見たが、募集戸数は少ない。空き家が増えると現入居者の共益費の負担が大きくなる。そのうち退去者が出始め、負のスパイラル現象で空き住戸が増えるのでは…。